

# 伊丹自衛隊基地周辺観察 フィールドワークのしおり



## 【スケジュール】（天候によって変更になる場合があります）

11時20分～ フィールドワーク概要報告。

11時45分～ 中部総監部周辺散策。

12時30分散策終了。

端ヶ池（ずがいけ）公園を通り、昆陽池（こやいけ）公園へ

13時昆陽池公園。昼食とリクレーション。

14時30分～ 徒歩20分で陸上自衛隊第三師団周辺に到着。周辺を散策。

15時30分頃終了予定

2015年11月8日（日）

リブ・イン・ピース☆9+25

# 1. 伊丹基地とは

## 伊丹基地

中部方面総監部等が駐屯する陸上自衛隊の駐屯地。主に中部方面隊直轄部隊の司令部が駐屯する。第3師団司令部は千僧駐屯地に置かれる。

1951年：警察予備隊の発足(1950年)により、伊丹駐屯地として開設。

1959年：第3師団総監部が千僧駐屯地へ移駐。

1960年 兵庫県が雇用対策のため、伊丹市緑ヶ丘に中部方面総監部を誘致。

## 中部方面隊第三師団

約 7,000 名 中部方面隊の隷下（軍事用語、命令下の組織）

司令部は伊丹市の千僧駐屯地に置く。3 個普通科連隊を基幹とし、近畿 2 府 4 県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を管轄。

## 陸上自衛隊の概要

全国を 5 方面隊に分割。北部方面隊（総監部、札幌）、東北方面隊（総監部、仙台）、東部方面隊（総監部、東京）、中部方面隊（総監部、伊丹）、西部方面隊（総監部、熊本）、中央即応集団。

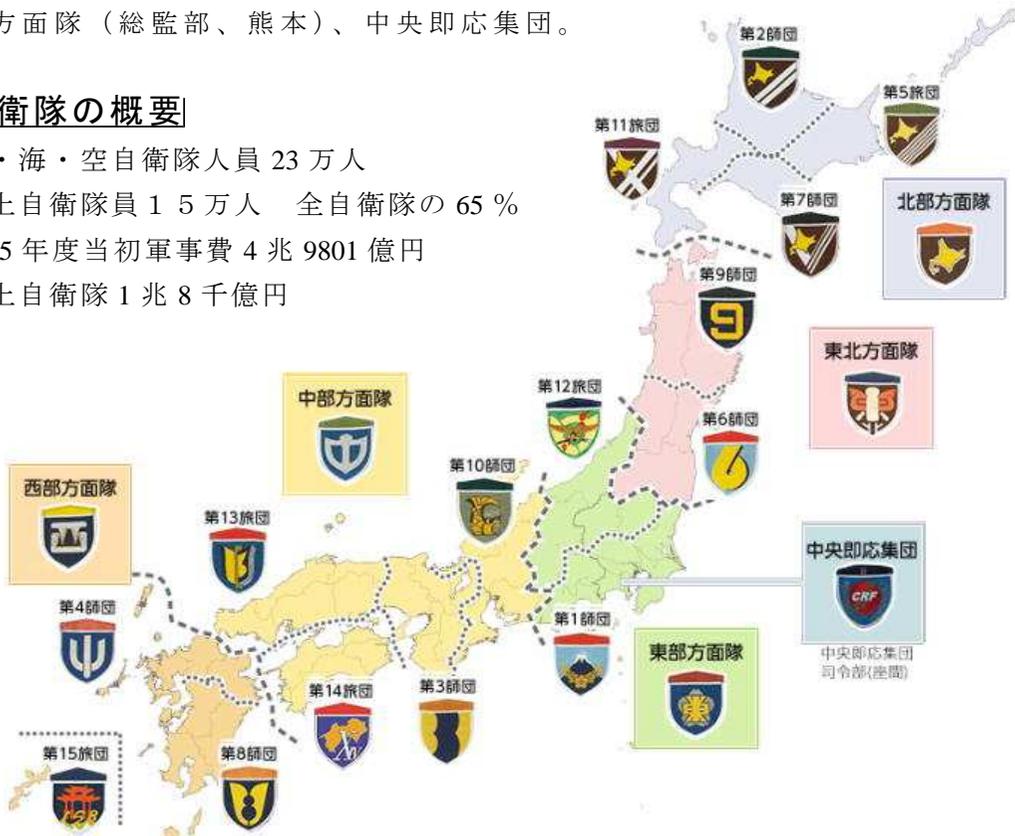
## 自衛隊の概要

陸・海・空自衛隊人員 23 万人

陸上自衛隊員 15 万人 全自衛隊の 65 %

2015 年度当初軍事費 4 兆 9801 億円

陸上自衛隊 1 兆 8 千億円



## 2. 伊丹基地の海外派兵

朝鮮戦争の勃発で、憲法9条を踏みにじり警察予備隊、保安隊を経て自衛隊が発足した。米ソ冷戦下で陸上自衛隊基地は「専守防衛」の名のもと対ソ対決の前線基地の役割を担わされた。ソ連崩壊後「海外派兵」が任務として付け加わりさらに9条が骨抜きにされた。伊丹からも何度も海外派兵が行われている。

### 日本の海外派兵

- ・1991年湾岸戦争後ペルシャ湾へ海上自衛隊が掃海部隊派遣。
- ・PKO（国連平和維持活動）への派遣。92年カンボジアを皮切りに、モザンビーク、ゴラン高原、東ティモール、スーダン、ハイチ、南スーダン等。
- ・アフガニスタン・イラク派兵＝米の侵略戦争加担。アフガニスタン戦争ではインド洋での給油、イラク戦争では「復興支援活動」としてサマワに駐留。
- ・「海賊対策」としてジブチに自衛隊基地設置。護衛艦と警備に陸上自衛隊派兵。

### 伊丹基地と中部方面隊からの海外派兵

1992年中部方面隊より国際カンボジア暫定機構（UNITAC）への参加。

1998年よりゴラン高原国連兵力引き離し監視隊（UNDOF）に断続的に参加。

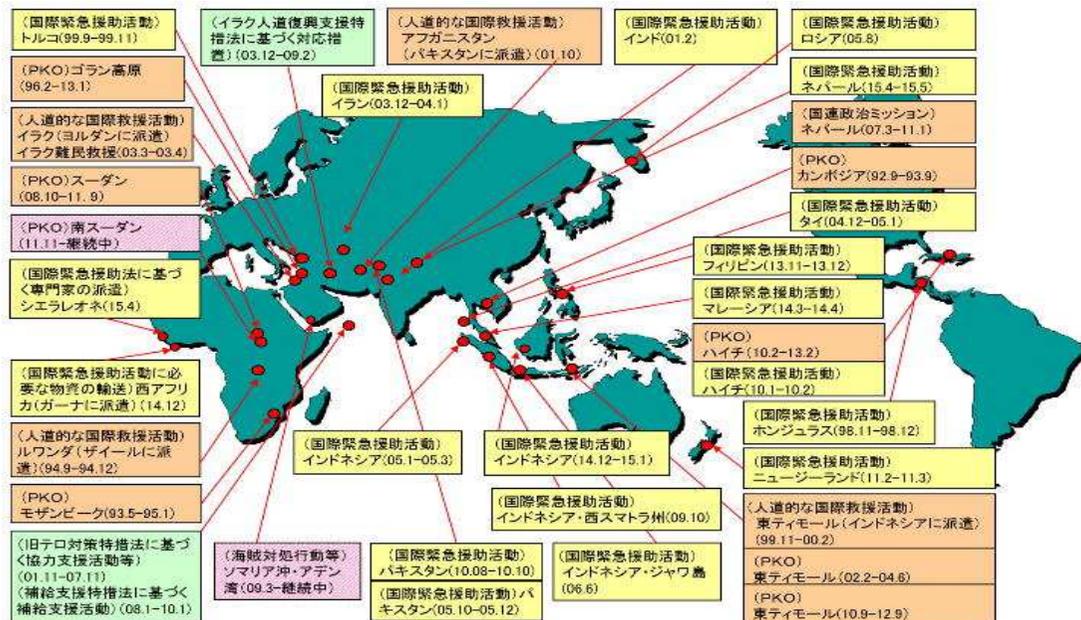
2005年4月26日：第三師団を基幹とする第6次イラク復興支援群が編成、群長には第36普通科連隊長の鈴木純治一等陸佐。第37普通科連隊（信太山）と混成して編成。

2007年ゴラン高原PKO第24次隊。それ以降は中央即応集団隷下部隊として運用。

2011年2月～8月 ハイチPKO派遣。第36普通科連隊長 第3師団。

2013年11月 - 2014年6月：南スーダン派遣施設隊第5次要員に隊員を派遣

2015年5月ジブチの自衛隊基地に13旅団（広島県海田市）を派遣。



### 3. 戦争法で、血を流すことが現実!!

#### PKO（国連平和維持活動）の変質

PKOの役割は当初の「停戦監視」「復興支援」から「平和構築」「平和強制」などと呼ばれる活動に大きく変質している。「平和強制」とは敵対勢力を武力制圧し殲滅する軍事作戦（「武装勢力の無害化」と表現される）のこと。PKOという名前がついた多国籍部隊による戦争そのものになっている。

#### 自衛隊の南スーダン派遣はすでに破綻している

南スーダンは2013年12月以降内戦が激化し、停戦合意の成立など自衛隊PKO派遣の前提（5原則）さえ崩れている。自衛隊PKO部隊は、駐屯地に立てこもり駐屯地内の他国PKO部隊の宿舎建設や避難民に対する給水、医療活動だけを行っているのが現状だ。駐留のための駐留になっている。

#### 「駆けつけ警護」とは、内戦の現場へ突入せよということ

駐屯地に引きこもるしかなかった自衛隊に「駆けつけ警護」の任務を新たに付与するとは、外に出て内戦の現場に突入り敵対勢力を殲滅する任務を果たせということだ。戦争法ではパトロールや家宅捜索などの危険な任務も可能となる。

#### 装備も派遣部隊も戦争するためのものに差し替え

「駆けつけ警護」をするためには、現在主力の建設大隊（工兵部隊）ではなく、重装備の戦闘部隊を送り込むことになる。敵に打撃を与え殲滅するためには、装甲車で機動する機関砲や対戦車砲・ロケットなど重火器で武装した数百人の大規模な部隊、さらには制空権確保のために戦闘ヘリ部隊まで必要となる。血を流すこと、殺し殺される事が現実味を帯びる。

- ・「駆けつけ警護」反対！南スーダンPKOから手を引け！
- ・戦争に関わるな！誰も殺すな、殺させるな！
- ・戦争法を今すぐ廃止せよ！



従来の自衛隊のPKO

→



武力活動が中心に変質  
(PKOの多国籍訓練より)

